

新支部長挨拶

十勝地区支部 支部長
山口 潤

十勝地区支部会員の皆さま、日頃から自己研鑽、専門性の向上に努めていただきありがとうございます。地区支部長を務めることとなりました山口です。役員に選出された方々はじめ会員の皆さんと共に、支部運営に精一杯取り組んでまいりますので、宜しくお願い致します。

「普通であたりまえ」の生活を営む権利を護る

僕は大樹町役場にて、**特養に 20 年間とデイにて 10 年間レジデンシャルソーシャルワーカー**として施設で暮らす利用者の「生活の場」「QOL 向上」を目指し、「普通であたりまえ」の生活を営む権利を護る視点を大切にしてきました。デイに異動してからはより地域に存在する「**要介護高齢者**」に対して**存在する差別や偏見**に立ち向かい、要介護高齢者にとって「生きがい」となれる事業所づくりを実践しているところです。

いつも利用者や家族の皆さんから「ありがとう」をもらっています。【なんでもないただの普通のあたりまえの毎日】の中で、**僕はいつも感謝の言葉を浴びています**。新しい発想で新しい企画を毎年のようにしていきます。目の前にある課題の奥に利用者だけでなくスタッフすらも喜ぶ姿を想像しながら楽しもうと思っていると、**僕自身が幸福感に包まれている**事に気が付きます。行動を起こす際に「**いい未来**」を想像すると**熱量・情熱が沸いてきて**、相互に影響し合う人間関係が形成され、周りの環境がより良くなっていくエンパワメントを実践できていると実感しているのです。

「かわっていく」を支えられる地区支部づくり

十勝地区支部のスローガン「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」は、**これまでの諸先輩方の思い**が詰まっており、その言葉ひとつひとつに様々な展開過程と実践が詰まっているのだと思います。

僕は十勝地区支部の社会福祉士会会員の皆さんが、「**会員になって良かった**」「**繋がることで専門性が高まったよ**」「**自分の困り事が解決してまた一人支える事ができたよ**」等々の言葉が増える未来を想像しています。その為に僕ら十勝地区支部役員一同は、会員の皆さんの声に耳を傾け、皆さんと共に時代に合わせて**少しずつ「かわっていく」を支えられる地区支部づくり**を行っていきたいと思います。社会の変革を進めることもソーシャルワークの展開の一つなら、僕ら会員同士が相互に影響し合う福祉の実践をしていくためにも、会員の皆さんの力を合わせ、**互いに支え合い、専門性を向上し、情熱を持って、楽しみながら前に進んでいく地区支部づくり**を目指していきます。皆さんのお力添えをどうぞ宜しくお願い致します。



写真はデイのレクでの1コマです。僕が20歳の頃に共に働いていた方がデイを利用しています。認知症があり僕の顔を見ては日に何度も同じ言葉を繰り返します「ジュン君、私デイがあるから幸せなの」僕こそ日に何度も同じ言葉を聞いては幸せになり、利用者を支えようとして僕が支えられ救われていました。

副支部長・事務局長挨拶

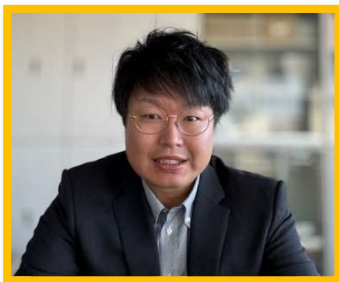
副支部長 渡辺 洋一郎

このたび、副支部長を拝命致しました渡辺です。もともと福祉とは違う分野で働いていましたが、その後社会福祉士の資格を取得して、障がい者施設、地域包括支援センターなどで働いていました。現在は芽室町議会議員をしており9年目になります。道の理事も5年目に入り、「生活困難者支援委員会」と「企画総務委員会」を担当しています。より参加しやすい研修のあり方を模索し、今年度からは平日夜の短時間講座も企画しています。何よりも、全道の多分野の会員のみなさんとつながりを持つことができ、大変貴重な経験をさせていただいていると感じています。地区支部の役員や道の理事というのはたしかに大変ですが、でもとてもやりがいのある職務だと思いますので、ぜひ多くの方に経験していただきたいと思っています。

社会福祉士は実践に基づいた専門職ですし、原理とともに社会に対する働きかけが必要だと特に最近感じています。十勝の会員のみなさんと、魅力ある会の活動や、入会してよかったと感じられる取組みについても、限られた任期ではありますが、一緒に模索していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



副支部長 庄司 圭佑



このたび、十勝地区支部の副支部長を拝命いたしました、鹿追町の庄司圭佑と申します。今回副支部長の責任ある役割をいただき、身の引き締まる思いです。副支部長として支部長や役員、会員のみなさまと協力し、支部の活動推進や目標の達成のため、地域の社会福祉士等との連携やコミュニケーションの促進、さらにはスキル向上のための研修や情報提供など様々な活動を展開していきたいと思っております。また、

今期から北海道社会福祉士会の理事にも任命いただきました。微力ではございますが、北海道内における多様な課題やニーズ、地域の声を受け止め、北海道全体の福祉の向上に取り組んでいきたいと考えています。

最後になりますが、支部の皆様には、引き続きご協力とサポートをお願い申し上げます。一人ひとりの力が集まり、連携して取り組むことで、より強い支部として成長していくことができると信じています。まだまだ若輩者ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 東村 智之

40歳で通信教育を受け、社会福祉士試験に合格・入会し、はや15年が過ぎました。この間、北海道社会福祉士会の理事(8年)、十勝地区支部支部長(3年)、同事務局長(4年)と、長年何らかの役割を頂戴しております。そろそろ一会員として…と思っておりましたが、山口潤新支部長の命を受け、更に2年間事務局長を継続することとなりました。

前任の若き事務局長に比べると頭の回転も鈍く、事務能力も低い私ですが、山口新支部長体制が、伸び伸び、スピーディーに事業を進めることができるよう、裏方として必要な事務・調整を行っていくつもりであります。

今後も会員の皆様には、研修案内、委員公募、SwCafe案内等の情報を適宜送信させていただきますので、北海道社会福祉士会十勝地区支部の活動にどうぞ参加下さい。



新役員紹介

新たに役員になった4名のご紹介をします！

- ① 所属(勤務先)と業務内容を教えてください(所属先(法人等)の勤務年数、役職、役割など)
- ② 役員の担当を教えてください
- ③ 趣味などプライベートのこと教えてください
- ④ 最後に会員の方、社会福祉士の方へメッセージをお願いします

廣瀬 大輔

①社会福祉法人真宗協会相談支援事業所帯広はちす園で主任相談支援専門員として勤務しています。相談支援には障害者総合支援法が施行された年から従事しており、今年で11年目になります。地域の障害を持つ方のケアマネジメント業務や、帯広市の委託相談支援業務を行っています。今年度から本格始動いたしました、帯広市圏域相談支援体制の帯広南・川西・大正地区の相談窓口対応をさせていただいています。

②十勝地区支部ではソーシャルアクション・見える化委員会、北海道社会福祉士会の現場実習指導者研修委員会に所属しています。ソーシャルアクション・見える化委員会では、10月9日、とかちプラザで開催されました、くらしのよろず無料相談会に社会福祉士の立場で参加させていただきました。他の士業の方と協働で活動する経験は、とても新鮮であり、自らが専門職として仕事をしていることの自覚を与えてくれる活動になりました。

③趣味はカメラと着物です。フィルムカメラが好きでコソコソと買い集めていて、お小遣いのほとんどがカメラやレンズの購入資金になっており出費が絶えません。また普段から着物を着ることが好きで、着物を着て妻と出かけることも楽しみのひとつになっています。男性の着物人口は絶滅危惧種に近いですが、このままでは生産者がいなくなってしまうので、少しでも着物を着られる人が増えてほしいと思っています。

ちょっと変わった経歴として、仕事ではソーシャルワーカーをしていますが、プライベートでは僧侶をしています。お寺の生まれではありませんが、12年前にご縁あって浄土真宗本願寺派の僧侶にならせていただきました。福祉と仏教はとても深いつながりがあり、両方の学びを続けることが私のライフワークになっています。

④今年度から当会の役員を仰せつかりました。なにぶん経験のないことでわからないことが多いのですが、役員としての責務を果たせるよう、皆さんと楽しく、責任感を持って務めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



数田 紗奈

①帯広協会病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務しています。

②基礎研修部会を担当させていただいています。

今は主に、ファシリテーターとして基礎研修にかかわらせていただいています。

③趣味は特にありません…。強いて言えばお菓子作りでしょうか。

作る時は(思うまま無心に?) 作るので大量の焼き菓子がテーブルいっぱいになります。

プライベートは愛犬とまったりしたり、研修を受けたり…としています。

④私は、資格を取得し数年経ったのちに本会へ入会し基礎研修を受講しました。

基礎研修では他領域で活動されている講師の方や受講生の皆さんと出会い、実践を行ううえでも刺激を受けました。

また十勝以外の社会福祉士の方々とも繋がることのできたことも貴重だったと感じます。

基礎研修を受けられていない方はぜひ一緒に研鑽できたらいいなと思います。



大橋 将秀

- ①大樹町特別養護老人ホームコスモス苑 生活相談員 法人の勤務年数23年目
- ②事務局員
- ③特に趣味はないが、中学生の子どもと一緒に勉強をして点を競っています。最近は何れも負けています。
- ④社会福祉士会には10年以上在籍していますが、これまでほとんど活動には参加してきませんでした。もし同じような会員の方がいたら、一緒に参加してみませんか？



倉橋 健

- ①広尾町立特別養護老人ホームつつじ苑で生活相談員として勤務しています。つつじ苑は3年目になり、その前は広尾町で運営している養護老人ホームや地域包括支援センター、福祉係で勤務していました。現在は生活支援係長として、特別養護老人ホームと短期入所事業所で入所者や利用者の相談業務や運営に関わっています。
- ②基礎研修部会の部会長として、十勝地区で開催される基礎研修Ⅰ～Ⅲの運営を主に担っています。十勝地区では基礎研修Ⅰ～Ⅲをすべて受講できる体制が整っています。また道の研修委員会で基礎研修や生涯研修制度について運営等の検討を行っています。
- ③スヌーピーのウッドストックグッズを集めることにはまっています。休日は犬と過ごしていることが多いです。
- ④2012年度より、日本社会福祉士会の生涯研修制度が変わりました。基礎研修は、社会福祉士として必要な基礎知識をⅠ・Ⅱ・Ⅲをあわせて3年間(最大6年間)かけて行なっていくものです。また、その後の専門研修の受講や成年後見人材研修の受講、認定社会福祉士資格を取得するためには欠かせない研修です。社会福祉士の資格取得は、「社会福祉士としての学びの始まり」といわれ社会福祉士の実践にはその後の自己研鑽が必要とされています。基礎研修は十勝で開催され参加しやすい体制になっておりますので、皆さんもスキルアップを図りませんか。



編集後記

広報人材育成委員会は、今年度より『ソーシャルアクション・見える化委員会』へ変わりました。ソーシャルアクション・見える化委員会は、『社会福祉士同士が見える』『他の専門職から見える』『地域の人から見える』を意識した活動をしていきます。

会員の方にご協力をお願いすることもあると思いますので、宜しくお願いします。

SA・見える化委員会 鳥瀬・大林